



ここが私たちの生活拠点だから。



令和7年度 ひょうたん池ボランティア

期末考査後の7月22日（火）、有志生徒によるひょうたん池の清掃が行われました。本校のひょうたん池は形を変えながらも長き歴史があり、100周年記念事業のマークでもデザインとして取り入れられています。そんなひょうたん池を含め、自分たちの生活の場をきれいに保つという当たり前のことを当たり前実践できること。それが国府高校生徒の良さなのです。



こ
国
う
府
じ
辞
えん
苑

ひょうたん池の歴史

大正12年、宝飯郡高等女学校が国府高等女学校になり、国府町下坊入に移転された際に作法室前に初代のひょうたん池が造成される。

その後、校舎の増設に伴い一度は姿を消したが、平成10年に当時正門にあった泉「真理の泉」を引き継ぐ形で光風会館前に2代目のひょうたん池が完成した（ちなみに、「真理の泉」は校歌の歌詞にも登場する）。平成12年には、80周年記念事業の一つとしてひょうたん池の整備が行われ、現在の形となった。

